



航空機の客室が再現された教室を見学する関係者＝関市迫間
中日本航空専門学校

「ボーイング777客室」で学べる

新校舍完成

中日本航空専門学校

関市迫間、中日本航空専門
学校が建設した新校舎（教育
棟）の落成式が30日、現地で

方。小型飛行機の組み立て実習室、CAD・CAMシステムなど

を学ぶコンピュータ室、ボーイング777の客室と空港カウターを再現した多目的教室などを設けた。多目的教室では接遇実習を予定している。	安藤弘治校長は「航空業界は状況を呈しており、新校舎完成を機に技術者養成に力を入れるとともに人間教育に努めたい」とあいさつした。この後実習室を
落成式には同校関係者や学生の就職先企業役員ら約70人が出席。	見学、航空機が展示された校舎脇の航空公園で記念碑を除幕した。

港力ウンターを再現した教室などを設けた。航空業界での活躍を目指す学生が4月から実習などで使う。(足立泰弘)

接遇実習用に再現

同校は国土交通大臣の航空従事者養成施設指定校で、航空整備科、航空生産科、エアポーツサービス科を開設。定員増などで校舎が手狭になり、事業費約10億5千万円をかけて7棟目の校舎を建設した。

新校舎は鉄骨2階建て、延べ約3670平方

新校舎は鉄骨2階建て、延べ約3670平